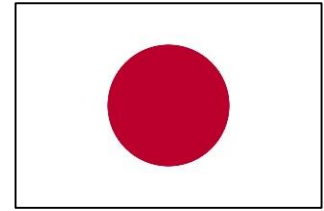


R2 年度

日中高校生対話・協働プログラム

～対話と協働を通して、日中高校生の絆を育む～



👉今回は、第1回のオンライン交流会の様子です👉

1. 第1回交流会：『お互いに学習している言語を使って自己紹介しよう』

日 時：2020年11月24日(水)17:00～17:40

相手校：(中国)南京外国語学校(18名)

初めてのオンライン交流ということもあり、準備を早々整えた生徒は、緊張した様子でパソコン画面を見つめていた。交流会の時間になり、相手校の生徒が1グループまた1グループとパソコン画面に映し出される度に歓声が起こり、中国の生徒とのオンライン交流会を心待ちにしていたのが伝わってきて、こちらも嬉しくなった。

本校の生徒から自己紹介がスタートしたが、緊張のあまり自分を覚えてもらおうと事前に用意していた「好きな漢字一文字」の紹介もできないまま自己紹介を終わらせる生徒や、相手校の生徒が写る画面を全く見ずに、原稿を見たままずっと自己紹介する生徒もいた。相手校の生徒はと言うと、「相手に伝えたい」という気持ちが伝わってくる自己紹介で、落ち着いており、流暢な日本語であった。本校の生徒にとっては、相手の自己紹介を見て参考にし、次回への自分たちの課題を見つけることができた交流会となった。



- ・上手く伝えることができなくて、悔しかった。
- ・自信を持って堂々とした態度でしっかり伝えないと伝わらないことが分かった。
- ・好きな漢字とか自分の名前を紙に書いてみせながら自己紹介したことが良かったと思う。



- ・中国の学生は日本のアニメが好きとか、和歌が好きとか日本の何かが好きで、それについての知識もあるけど、私は、ただ中国語を学びたいだけで中国の何かが好きというわけでもないから、そこで意欲に差がついてるのもあるのかなと思った。



- ・中国の高校生徒との学ぶ姿勢や、学習言語をできるだけ運用し交流していこうという姿勢の違いを感じ、私たちもそういう姿勢を持たなければいけないと思った。
- ・お互いに相手の国の言語で自己紹介し合えて楽しかった。